



1日	金	みなかせ塾 (6年生)
4日	月	エルフの会読み聞かせ (3年生)
8日	金	委員会活動 標準学力調査 (国語・算数 全学年)
9日	土	土曜授業 南風寺子屋 逃走中
11日	月	イングリッシュ・ウィーク エルフの会読み聞かせ (4年生) 南風カフェ (4年生)
13日	水	ピンクシャツ・デー
14日	木	南風朝の会
15日	金	糸島市音楽会 (6年生) みなかせ塾 (5年生)
21日	木	大掃除
22日	金	冬休み前全校朝会

風の色

冬の風は すきとおった白
と あくしゅしたから

■昨年度も紹介した詩「風の色」の「冬」のまとめです。四角の中にどんな言葉が入るかな、と問いかけると子どもたちはどんな想像をめぐらせ、どんな言葉にして教えてくれるでしょう。

■「雪だと思えます。冬の風だし白だからです」「でも、すきとおったってあるけど雪はすきとおってないから、氷だと思えます」「氷はあくしゅできません。でも雪だるまなら手をつけてあくしゅできるからきっと雪だるまだと思います」「でも雪だるまはすきとおってないから…」

■ずいぶん前にこの詩をつかって授業をしていたときの、懸命に考えをぶつけ合う子どもたちの言葉を思い出します。ついこの間までにぎやかな緑や黄色だった南風の風の色もすっかり「すきとおった白」になってきました。それでも子どもたちは風を切って元気に登校。「おはようございます!」と笑顔であいさつしてくれます。おかげで私も元気をいただいています。

■冬休みまであとしばらく。子どもは風の子、とはいえ感染症が広がらないよう対策を徹底していきます。

「み」「な」「か」「ぜ」の育ち

●11月に子どもたちにアンケート調査をして、子どもの育ち具合を確かめてみました。結果は次のようでした。
(数字は「とても」「まあまあ」を合わせた割合です)

●「み」つめ合う子 →自分から挨拶

▶1年 96.0%	▶2年 98.5%
▶3年 90.6%	▶4年 84.4%
▶5年 83.9%	▶6年 86.9%

●「な」かまと共に動く子 →ふだんから温かい言葉

▶1年 88.0%	▶2年 97.3%
▶3年 89.2%	▶4年 87.7%
▶5年 83.8%	▶6年 82.2%

●「か」んがえを伝える子 →自分の言葉で説明

▶1年 92.0%	▶2年 97.1%
▶3年 85.2%	▶4年 85.6%
▶5年 79.0%	▶6年 71.5%

●「ぜ」ん力でやりとげる子 →粘り強い取組

▶1年 96.0%	▶2年 98.6%
▶3年 95.9%	▶4年 88.9%
▶5年 88.7%	▶6年 85.8%

●数値で全体を大きくみても、子どもたち一人一人をみつめても、確かな成長を感じています。さらに伸びていけるよう、関わっていきます。

主体性 ～しゅたいせい～

●主体性。前回紹介した「志」とともに今、そしてこれからも南風が大事にしていきたい言葉です。子どもたちには、「自分から・自分たちから」「自分で・自分たちで」考えよう、動こうと話しています。

●「主体」と似た言葉の一つに「自主」があります。二つの言葉の違いについて、私たちはこんなふうにとらえています。例えば「生き物係」になったとき。メダカに毎日エサをあげてお世話する。しなくてはいけないことを先生や友達に言われなくてもできることが「自主性」。メダカが卵を産んだよ。すごいね。メダカ新聞つくってみんなに知らせよう、例えばそんなふうにやりたいことを見つけて動き出すことが「主体性」。

●やるべきことを自分から動いていくことも大事だし難しいこと。加えて、仲間と知恵と汗をしぼり合ってやりたいことを創って動くこと。そんな姿、場面がふえることが子どもたちの笑顔につながると信じています。

ウオームハート・キャンペーン

♥「ありがとう」の心と言葉が広がっています。ウオームハート・キャンペーン。今年は昇降口奥ろうかにメッセージを掲示しています。

♥「毎日忙しいけど、どれも手を抜かずがんばっている●●ちゃんを家族みんなが大好きです」「家族のことを気にかけて大丈夫、と優しく声をかけてくれる●●さん。いつも有難う」こんな保護者の皆さまからお子様へのメッセージもたくさん。有難うございます。

♥書いて伝えるっていいですね。ふだんは口に出せないことでも伝えることができます。温かい心が温かい言葉を、温かい言葉が温かい心をつくる。そんな力を改めて感じています。

